

令和 5 年度



幼稚園だより 9月号

文京区立小日向台町幼稚園

2 学期のスタートです

園長 小岩井 聡

暑い、暑い夏休みが終わり、2 学期がスタートしました。

暦の上では「秋」というものの、暑さは一向に衰えません。しばらくは、熱中症に気を付けながらの戸外での活動となりそうです。しかしながら、朝・夕は少しずつ秋の気配も感じられ、季節は間違いなく移り変わっているようです。

2 学期は 1 年を通じて、一番長い学期であり、多くの行事が予定されています。例えば、10 月初めの運動会や遠足、音楽会など、行事を通して様々な体験が子どもたちの成長・学びにつながると思います。

さて、この夏、私は新幹線に乗る機会がありました。(行先は関西方面でした)

夏休みということで、旅行に行かれる親子連れの方もたくさんいらっしゃいました。私が乗車した日は、ちょうど台風 6 号が本州に接近して、無事に往復できるか心配するようなときでした。ですので、車窓から見える景色は、大きな黒い雲が複雑な形をしていたり、名古屋を過ぎるとそれまでの晴れ間が嘘のように、急に雨が強く降ってきたりというような状況でした。

往路のことです。雲が下がってきていることもあり、新幹線から見える周囲の景色も白く、ぼんやりとしています。「台風の影響、大丈夫かな…」などと考えながら座席に座っていましたが、その時に斜め前のちょうど年長児くらいのお子さんが「すごいね、飛行機みたい。空を飛んでいるみたいだね。」とおうちの方に笑顔で話していました。

子どもの想像力、感性にも驚きましたが、多分、そのお子さんは飛行機に乗ったという経験がとても印象に残っていたのでしょう。新幹線の周囲に雲がある状況を、楽しそうに、自分の経験と合わせて表現してくれました。その言葉で、私は、ただ心配だけをしていて状況を楽しむ余裕のなかった自分を反省しました。

園の子どもたちも、この夏、たくさんの経験をしたことと思います。楽しかった思い出の中に、子どもたちは、自分なりに、様々な学びやイメージの素や、直接体験して感じたことなどを多く蓄えていると思います。もちろんその表し方は、様々ではあります。でも、そのような子どもたちの経験が、幼稚園での遊びや活動をより楽しくしていってくれるはずですよ。

この夏の体験が、どんな風に子どもたちの中に蓄えられているかを楽しみにしながら、2 学期も子どもたちが元気に遊ぶ様子を見つめていきたいと思います。

